

## 学びの風景(その5)

2022.5.24(火)

### いきなり勉強を始めます

教室に入ってきて、自分の机に座るなり、いきなり勉強を始めます。  
ほとんどの人がそうします。

机の前には、きょう自分が学習すべき課題プリントが積んであるからです。  
それを上から順に消化します。  
何をしようとか、どのようにしようかなど迷う余地はありません。  
勉強する環境がセットしてあるので、ただ、ただ、始めればいだけなのです。

### まず、前回解けなかったを解けるにしてから…

最初に、前回間違った問題をもう一度解きます。  
家で練習してきている人はさらっと解いて、次へ進みます。

家で練習してこなかった人は、解けません。  
解けなかった問題を、解けないままでスルーさせないのが数専ゼミの学習システムです。  
塾で、もう一回練習させます。

時間の無駄です。学習が遅れます。  
こういうデメリットを理解できない人です。  
こういうことが続くと、塾も長続きしません。  
学力を上げる”コア”の部分をやらないわけですから、学習結果がでません。

前回に解けなかった問題は、全員、必ず解けるにしてから先へ進みます。

### 自分で学びとる

きょうの課題です。  
先生は講義しません。  
生徒は、「先生の講義が文章で書いてある」例題を自分で学びとります。  
先生の講義よりももっともっと詳しく解き方が書いてあります。  
「誌上講義」は、先生の講義を可視化・俯瞰化したものです。  
すなわち、先生の講義が目で見ながら確認することができるし、全体の流れを一瞬で確認することができます。  
ほとんどの人は、読むだけで理解できるし、その例題を解けるようになります。  
もちろん、理解できないところがあったら先生に質問すればすぐに教えてくれます。

## ほんとうにわかったのか

「解き方がわかった」で、学習は終わりません。  
「わかったつもり症候群」の陥ると、“学習した”満足感で終わります。  
その状態では、解けていないはずで  
だから、本当に解けるのかどうかをチェックします。  
チェックテストで合格したときだけ、その例題が理解できたとみなします。

そのあとで、応用力をつけるための問題演習に入ります。



今回は、数専ゼミの学習のイントロ部分を紹介してみました。  
★解法の技術★を、自分の力だけで学びとる部分です。

**学び取る学習システムの数専ゼミの数学教室です。**

### 数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)